

山の辺の道を歩く PART-9



ふすまじ 〈衾道と人麻呂の歌〉

ふすまじ ひきで いも
衾道を 引手の山に 妹を置いて 山路を行けば 生けりともなし

柿本人麻呂

万葉の歌人 柿本人麻呂の歌である。衾道は山の辺の道の一部でこの歌碑のあたりであらうか。引手の山は現在の竜王山のことでこのあたり一体が古代貴族の埋葬地であつたらしく、近年竜王山の発掘調査によっておびただしい群集墓が現れた。おそらくその中に人麻呂の妻の墓も含まれていたのかも知れない。「いましがた最愛の妻を引手の山に葬って、山路をたどると生きた心地もしないよ。」打ちひしがれた人麻呂の気持ちが伝わって来るような晩秋の夕暮れ時であった。

住みよい地域社会の 実現をめざして



奈良県生協連会長 繁田 實造

あけましておめでとう申し上げます。

昨年は奈良県生活協同組合連合会におきましてもいろいろなことがありました。うれしいこととしましては、何といても県生協連の新しいメンバーとして奈良工業高等専門学校生活協同組合と、樟蔭女子短期大学生生活協同組合を迎え入れることができたことであります。しかし、他方で残念なこともありました。それは、会員生協の中で、食中毒事故と現金事故が発生したことであります。禍福はあざなえる縄のごとしといわれますが、昨年は良いことも悪いこともあった一年でしたと簡単に片づけるべきでないことは当然であります。これらの事故は未然に防止することこそが最善であります。発生した以上は、「禍を転じて福となす」ために事故原因を徹底的に追及し、事故を起こした生協はもちろんのこと、他の生協にとっても貴重な教訓として活かし、このようなことが再度発生しないようにするために、過日の第4回県生協連の理事会においても誓い合った次第です。

ところで、昨今の新聞では、厚生省汚職事件がにぎにぎしく報じられています。弱者を食いものとする事件として大変腹立たしいかぎりです。

日本では福祉国家に対する見直しが叫ばれる一方で、国の施策として高齢化社会に対処

するためにゴールドプランが策定され、実施されてきました。奈良県におきましても、昨年度、「奈良県住みよい福祉のまちづくり推進協議会」がつくられ、知事を先頭に、障害者や高齢者等をはじめとして、すべての県民が、安全で快適に生活できる豊かな住みよい地域社会を実現することになりました。

日本生協連でも昨年末の県代表幹事会において高齢化問題が論ぜられました。奈良県生協連のメンバーであるならコープにおきましても、確実にやってくる高齢化社会に備えて、参加型の特別養護老人ホームをつくり、そこを拠点にいろいろな高齢者福祉活動をするための運動が、昨年末から具体的に始められました。厚生省汚職で高齢者問題は金もうけになるという誤ったイメージが流れ、非常に困難な情勢の下にあります。真面目なことの運動は何としても成功させなければと思います。県生協連としまして、ならコープの特別養護老人ホームの建設に対し、全力をあげての支援をすることを誓って、新年の挨拶とさせていただきます。



共に助け合う 信頼関係を求めて

奈良県生協連副会長
奈良県労働者共済生協専務理事

右手 五郎



生協県連に参加する役員、組合員のみなさん、あけましておめでとうございます。

1997年の元旦をご家族の方々と共に、新たな気持ちでお迎えのこととお喜び申し上げます。

さて、県連の大國さんから、新年の抱負、課題をと大変難しいテーマを与えられました。テーマの答えにはなりません、労済奈良が抱えている幾つかの解決しなければならない課題の内一つを紹介したいと思います。

まず、生・損保業界の動きが、96年後半に大きく変わりました。一つには、生保、損保共にこれまで130年間に亘ってそれぞれ単営でしたが、これが96年10月1日を以て、それぞれが子会社を持ち、それぞれの分野に進出をする事になりました。

二つには、生保、損保共に料率（掛け金）の巾が大きくなり、同一の保険があったとしても、会社によってその掛け金が違うことになります。この傾向は、おそらく3～5年の間に大きく進み、料率（掛け金）は、全くの自由競走になるでしょう。

その時、共済と名乗るすべての事業も、自由競争の真っ直中にあるといえます。私たちの共済事業は、このとき生協の原点に立ち返り、仲間の相互、信頼関係をより強くし、共に助け合う強い意思で結ばれていなければ、

商業保険に負けてしまうことになります。

こうして、弱肉強食の世界が世の中を支配し、勝ち残ったものが自由に市場を、掛け金（単価）を支配し、私たちの生活は一層苦しくなるのではないのでしょうか。

この構図を作らないよう、生協に参加するものが協働して、未参加の仲間を一人でも多く生協の組合員になってもらい、圧倒的多数の人達で自らの事業、協同組合を育て、自らの生活を守る目標を持つことだと考えています。このため、現在の機構、組織、習慣、制度、考え方などの改革、革新を急ぐ事が本年の最も優先される課題であると考えています。みなさん一緒に頑張りましょう。



牛歩でも確実に 力強く前進を

奈良県生協連専務理事
ならコープ専務理事

瀧川 潔



奈良県生協連にご結集いただいているみなさん、また何かとご協力いただいているみなさん、明けましておめでとうございます。

去年は、県の審議会等では新たに「住みよい福祉のまちづくり推進協議会委員」に繁田会長が就任、生協として消費者の意見を代弁する機会がさらにひろがりました。また、多くの県下諸団体のみなさんとともに「自然災害に対する国民的保障制度を求める県民会議」を結成して署名活動を広げることができたことは、今後活動を広げる重要な成果の一つといえるでしょう。この1月は「阪神・淡路大震災」で貴い命を奪われた方々の「3回忌」でもあり、この様な惨事の広がりを二度とくりかえさないような対策と家屋家財を中心とする国民的な保障制度が確立するよう、いっそうの努力をする必要があることを再確認して取り組みを強めましょう。

さてこのウシ年97年は、経済動向において世界の頂上に達した日本経済がさらに大きく伸張することは望めないわけで、危機的な国家財政の改革が必至な上に、消費税の5%アップによって国民の消費減退は引き続くことになり、消費者のくらしと生協の事業は困難が継続するモー大変な年になりそうです。消費者のくらしを守って税率アップに反対するとともに、組合員の声に応えて、「牛歩でも確

実に力強く」運動と事業を固める必要があります。

世界的には国連のSSDIVの年であり、昨年の「世界法廷運動」の成果を引き継いで、世界と日本の軍縮と核廃絶、平和の声を大きく高めていく活動を工夫をこらし、参加の枠を広げて取り組みましょう。

また、財政難を盾にした福祉予算の削減に対しても福祉の活動を強めることが極めて重要な年であり、容器リサイクル法などに対する環境についての活動もますます重要になってきます。いっそう具体的に、多くの組合員の参加で進めようではありませんか。

特に、ならコープにおいては、社会福祉法人準備会を中心に「特別擁護老人ホーム」建設の準備が進められます。私も「すすめる会」の一人であり、21世紀に向けての福祉の拡充のために大いに頑張りたいと思います。みなさんも是非ご協力をお願い致します。

今年も、各生協でみんなの力がモーっと発揮されるよう、お互いに力をギューっと合わせて頑張らしましょう。



97年度方針を 考えるに当たって



奈良県生協連理事
奈良女子大学生協専務理事 小林 利幸

来年は、
「新しい生協をつくる」
そんな気持ちです。

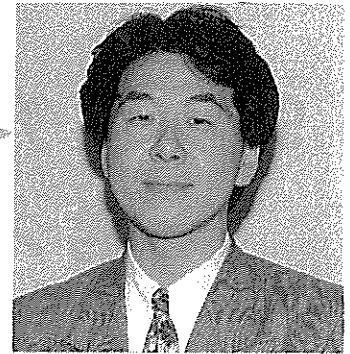
- イ. ちばコープのことばをつかわしてもらおうと思っています。
『ねえ、ねえ、聞いて』がいっぱい
『ありがとう』がいっぱい
そして“つながり”がいっぱい
- ロ. わかりやすい生協になろうと思います。
していることを組合員に知らそう
意見をいっぱい聞こう
組合員とコミュニケーションをもとう
- ハ. 生協職員や学生委員が明るいのがバロメーターになると考えます。
パート職員と学生委員も仲良くなろう
理事もいろんな意見を言おう
失敗してもいいけど、次のときは失敗をしないようにね
- ニ. 時代の変化に耐えうるのは、組合員の支持！
組合員の生活と組合員の声が生協の命
生協の命を生協職員で育てていきましょう



「1 + 1 が 3 にも 4 にもなる連帯の輪を」

奈良県生協連理事
奈良教育大学生協専務理事

足田 利政



昨年・一昨年と、奈良県立商科大学生協・奈良高専生協・樟蔭女子短期大学生協と大学・高専生協の設立が相次ぎ、大変慌ただしいけれども充実した年を過ごしました。この中で多くのすばらしい経験をさせていただくことができました。また生協の連帯についても実践的に深めることができました。

商大生協ができたことは、商科大学の福利厚生者の充実という点で意義深いのはもちろんですが、それにも増して、商大生協設立を契機に奈良県下の大学・高専生協間の交流が進んだことが、私はとても大きな意味を持つと考えています。それぞれの生協は小さいけれど、各生協でがんばっている仲間が、集い交流しあう中で、新しい知恵がわき、活動のイメージが広がり、次の意欲へとつながる、そんな連帯の中身が見えて来ました。

これまでどちらかというところそれぞれの枠に閉じこもっていた学生が、外の世界と触れ、新しい価値観に触れることで自分自身が変わっていく、そんなダイナミックな人間発達のプロセスが、今後もっと学内外に広がっていくことを期待しています。

それから高専生協についてですが、奈良高専での設立自身が、高等専門学校で全国に先駆けての生協設立という快挙であり、これも意義深いことでした。しかし、残念ながら秋

の食中毒事故で多くの組合員・学校、そして近隣生協の皆さんに多大なご迷惑をかけ、97年は真に信頼されるに足る生協への再出発の年となります。先の事故は、新規設立生協にとってはこのうえない試練でしたが、困難なときにこそ組織と人間が鍛えられます。高専生協ではこの事故に際して、理事長・専務理事を先頭に、非常勤の理事そして、生協設立に関わって下さった全ての関係者が、寝食を忘れて信頼回復のために駆け回られました。そして、そのことが理事会の結束を深め、生協への思いを強めていただいたように思います。私自身も最後まで頑張ったのは、こうした理事の皆さんの奮闘や生協への思いがあったからであると振り返っています。

よく生協の中では「連帯が大切だ。」と言います。連帯の本質は、共通の要求や目標のため協力し合うことであり、つまるところ仲間（同志）の輪を広げることです。しかし、そこには常に具体的な人が介在し、常に人を介して連帯は進みます。上で紹介した活動が「生協らしい」と感じるのは、きっとこの間の生協設立に関わった一人ひとりの心が、同じ目的で結び合い、お互いを信頼し合っているからこそでしょう。私は、97年もまたこうした「生協らしい」活動に関わっていただくと考えています。

本年も生活者本位の サービスの提供を!!



奈良生協連理事
奈良県立商科大学生協専務理事

堀田 新五郎

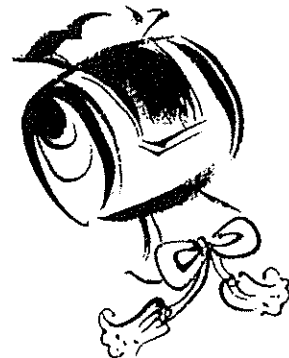
奈良県の生協組合員の皆様、新年あけましておめでとうございます。旧年中は、いえいえ旧年中もまたと言うべきでしょうか、大変お世話になり通しで本当に恐縮しております。日本経済が構造的不況のただ中であって、御承知の通り生活協同組合もなかなかきびしい運営状況を続けております。そのような中、2年前の4月に我々県立商科大学生協が設立されました。全国でも例のない四年制夜間大学であり、組合員数も400人弱という極めて小規模な生協が、この1年8ヶ月程順調に供給実績を上げてこられましたのも、生協のネットワークによる、人・モノ・情報のつながりのおかげであると感謝しております。これは、生協が単なる営利団体であったならば不可能なことだったのではないのでしょうか。例えばチェーン店方式の企業が、本学のような条件の場に新たな店舗を設営することなどは、なかなか考えにくいことです。

なる程戦後50年、確かに日本は世界に類のない経済発展を遂げてまいりました。しかしながら様々な生活意識調査の結果を見ますと、日本人の生活満足度は、所謂欧米諸国と比較した場合意外な程低いレベルであることに驚かされます。そこには無論種々の原因が考えられますが、その一つとして、日本社会が利益最優先の冷たい目的合理性によって支配さ

れてきたことが挙げられるのではないのでしょうか。

もちろん利益は大切です。けれどもそれ以上に大切なのは、言葉の本来の意味でのサービスではないのでしょうか。つまり相手の身になって、換言すれば、生活者本位の立場から商品を提供し、それが同時に提供者の利益になるというあり方です。こうした関係は、言うは易く行うは難しと言ったものでしょう。しかしながら生協における連帯のあり方とは、このような困難を実践しているのだと思います。単なる利益ではなく、だからこそまた利益をも!!

我々商大生協は、本年もこのような精神のもとに本来的サービスを提供し続けてまいりたいと考えております。どうぞ本年もまた、よろしくお願い申し上げます。



97年を迎え 新たな気持ちで

奈良県生協連理事

奈良工業高等専門学校生協専務理事

桐川 修



私たち奈良高専生協は、96年2月に創立総会を開き、県連加盟各生協のご援助、ご協力をいただいて4月から食堂・売店での供給を開始いたしました。全国高専で初めての生協とあって当初から組合員の期待も大きく、この期待を裏切らないよう努力を続けて参りましたが、残念なことに9月に食堂において食中毒事故が発生いたしました。この件につきましては皆様方には大変なご迷惑、ご心配をおかけいたしました。今後二度と再びこのような事故を起こさないよう各種対策を講じ、また被害にあわれた組合員のみなさまへの補償も終え、新たな気持ちで97年を迎えたいと思っております。

発足以来正規の職員を置かずパートさんだけで運営してまいりましたが、11月から他大学生協の支援により、林 伸幸さんを店長として迎えることができました。食堂でのいろいろな指導・助言をとおして、失われた信頼をできるだけ早く回復し、組合員から従来にも増して多くの利用をいただけるよう願っております。また、売店の方では、新年度の教科書・教材の取扱いをはじめのべく準備を進めています。これまで学生が教科書・教材を購入する際は全く割引がなく定価どおりでしたが、生協が扱うようになれば最低でも5%安く購入できます。高校とは違って教科

書には専門書が多く、一人当たり年間数万円の教科書・教材購入費がかかっていました。生協ができたその経済的メリットを直接組合員に還元できるわけで、何としても実現させたいと思っています。さらに、現在は注文で行っている書籍の販売も、できればコーナーを設けて実際に手にとってから買えるようにしたいと思っています。

店舗以外での取り組みとして、97年は校内のゴミ問題に生協として積極的に取り組んでいきたいと考えています。この問題は、地球環境をどのように守っていくのかという人類にとってきわめて重要な問題と密接に関連しており、学生に対する環境教育の一環とも考えられます。他生協での取り組みとも連携して将来的には校内にとどまらず、地域全体のゴミ問題を考える運動に広めていきたいと考えています。



高齢化社会に向けて 基礎体力づくりの年に



奈良県生協連理事
ならコープ副理事長

仲宗根 迪子

新年おめでとうございます。

去年は奈良高専生協、樟蔭女子短大生協の加盟で仲間がさらに増え、小所帯の県連もすこしづつ大きくなって喜ばしいことです。

「おばさん生協」からすると、自分たちの息子・娘世代が二人増えたようなものですが、県連の平均年齢も若返っていますので、「うるさいお母さん生協」ではなく「話の分かるお姉さん生協」になって仲良くしていただければと思います。

今年の「お姉さん」の最大の関心事は老い입니다。ぼちぼち自分自身の老いの始まりも感じていますし、20年後を考えたとき今のような準備で安心できるかしらとってしまいます。でもその前に介護というものに直面することもあるわけで、女性にとっては深刻な問題です。介護は嫁や娘の仕事とまだまだ思われていて、またそれが美德のように考えられがちですが、高齢化が進む中で介護も長期化することが多く、家族の在り方が変わっている現在ではなかなか困難です。高齢社会の対策としてゴールドプランが進められていますが、施設も在宅サービスもまだまだ不十分ですし、ソフトを伴ったハードの整備が待ち望まれます。そんな折に、福祉に利権が絡んでいたという事件は、現場で携わっておられる方々だけでなく私たちにも全く腹立たしく残

念な思いをさせられます。

ならコープではいよいよ特別養護老人ホームを含めた高齢者福祉のための社会福祉法人の設立に向けて動き出しました。素人が知恵と力とお金を出し合って、全く新しい世界に乗り出すわけで、自分たちに力量が備わっているのか不安もありますが、20数年前に700人余りの人達が自分たちのくらし・食生活の安心・安全を自分たちでつくろうと起こした生協運動がすっかり根付いたわけですし、ぜひこの壮大な計画も実現したいと願っています。自分が入れなくても、だれもが学べ、体験でき、関わりが持てることで、老いと介護を皆で支えあえる、そんな施設になることは、必ず地域社会にお返しができ、次世代の人達にも共感をもって頂けると思います。

ただこれを進めるためにも、ならコープの基礎体力をもっと付けなければなりません、増え続けそうな私の体重をこの二つの大きな課題でストップさせたいと思っています。

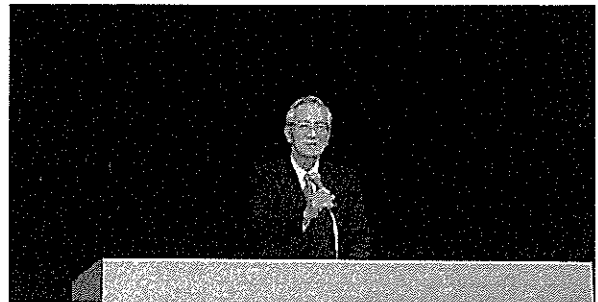


— 広がる協同・くらしの輪 —

自然災害に対する国民的保障制度を求める取り組みがありました

11月27日(水)と12月3日(火)に近鉄奈良駅前で署名活動を行い、延べ101名(生協関係23名)が参加し1,000名の署名が集まりました。

12月4日(水)に奈良県文化会館国際ホールでシンポジウムが行われ、750名(生協関係61名)が参加し、代表世話人の大和郡山市長の挨拶に続き瀧川専務の署名活動への決意表明がありました。続いて西田史郎教授(教育大)の講演がありました。



挨拶をされる阪奥明大和郡山市長

97年度にむけての要望書を提出

11月28日(木)の行政協議会において、繁田会長から県民生活課の北岡四郎課長に手渡しました。



瀧川専務の決意表明



自然災害に対する国民的保障制度を求める奈良県民会議

代表世話人

| | |
|--------------------------------|--------------------------------|
| 青木 藤枝 (奈良県地域婦人団体 連絡協議会会長) | 高野 嘉雄 (弁護士) |
| 浅川 清 (奈良県中小企業団体中央会会長) | 中南 又彦 (全労済近畿奈良県本部理事) |
| 有山 雄基 (奈良県医師会会長) | 西田 史郎 (奈良教育大学教授) |
| 井上 勇 (連合奈良退職者協議会会長) | 萩原善之助 (奈良県商工会連合会会長) |
| 阪奥 明 (奈良県市長会会長) | 濱上 和康 (連合奈良会長) |
| 坂本 道隆 (奈良県経営者協会会長) | 松井 勇 (財団法人 奈良県労働者 福祉協議会理事長) |
| 坂本 龍児 (奈良県商工会議所連合会会長) | 山本 昇 (奈良県社会福祉協議会常務理事) |
| 繁田 實造 (奈良県生活協同組合連合会会長) | 芳中 憲司 (奈良県老人クラブ連合会会長) |
| 駿河 武 (奈良市勤労者 福祉サービスセンター理事長) | 渡辺 忠夫 (奈良新聞社社長) |

(11月22日現在確定分) (敬称略50音順)

[世話人]

| |
|-------------------------------|
| 淡野 明彦 (奈良教育大学生生活協同組合理事長) |
| 逸見 啓 (ならコープ理事長) |
| 梅原 忠 (国立奈良高等専門学校生活協同組合理事長) |
| 宮内 嵩 (奈良県労働金庫理事長) |
| 佐藤 武夫 (奈良県労働者信用基金協会専務理事) |
| 澤田 綾子 (ホームヘルパーの会「やすらぎ」会長) |
| 関根 賢司 (橿原女子短期大学生生活協同組合理事長) |
| 高田 紘二 (奈良県商科大学生活協同組合理事長) |
| 高田 将志 (奈良女子大学生生活協同組合理事長) |
| 田仲 敦三 (奈良教職員組合委員長) |
| 藤井 辰男 (奈良YMCA所長) |
| 藤田 和 (奈良シカゴ調査会「ディア・マイフレンド」代表) |
| 前田喜四雄 (紀伊半島野生動物研究会) |
| 宮谷 理 (天理学園教職員組合委員長) |

(敬称略 50音順)

'96ノーマア・ウォーのつどい開催される

12月8日（日）コープおしくま集会室に於いて開催され、午前、午後を合わせて169名の参加がありました。

午前は、元生駒市菟分小学校教頭の浜田博生さんを講師に招き模擬授業を行いました。

また、中国とタイ、バングラデシュの留学生も参加され、自国で習った日本人とは違い実際はやさしいこと、戦争の悲惨さを知ることの大切さや、平和な世界を願っていることなどを、話しました。

午後は、沖縄戦跡・基地をたずねての報告があり、戦争中に起きた中国人の強制連行を描いたアニメ映画「ライオンツリーの歌」の上映や、原爆パネル・戦争当時のくらしの様子や遺品の展示、平和メッセージを吊したツリーもあり、参加者は、平和への思いを新たにしていました。

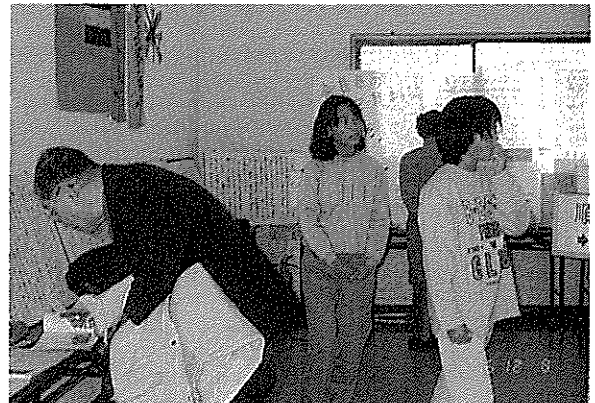
アンケートより

日本はアメリカにせめられたばかりと思っていたけど、日本もほかの国をせめていたので、日本もアメリカと同じ事をしてた。アメリカだけをわるいとおもってはいけない。

（9才女の子）



浜田先生の授業風景



戦時中の備品や写真の展示



YMCAの藤井辰夫さん



平和の願いのメッセージでツリー

97年度

ならコープ組合員活動の課題



ならコープ組合員活動室室長 菅 正光

1. 97年度は21世紀を切り拓く第5次長計 (1967～2001年)初年度

97年度はならコープの第5次長計の初年度にあたります。ならコープの組合員と生協の事業をめぐって厳しい状況や課題が生まれてきていますが、全国の生協の仲間やKネットに団結して、また、組合員と全役職員が一致して新しい発展の展望が切り拓けるよう頑張っていきたいと考えています。ちなみに第5次長計では5年間に新たに4.5万人の組合員を迎え、21万人、奈良県世帯比40%の組織率に到達すること、事業高475億円、食品分野でのシェア10%をめざすこと、生活と健康を守る運動を強化していくことなどをめざしています。ならコープの新たな発展は奈良県民にとっても大きな影響を与えていくことになると考えています。

2. 97年度の組合員活動の課題について

ならコープでは「食生活と健康」の取り組みを強化し商品の見直し、改善、普及など商品活動を進めていくことを基本に環境、福祉、平和、国民生活の課題に取り組んできました。これらの課題は課題の重要性や緊急性の面でも、課題の広さや深さの面でも、また、世界的、地球的な課題という点でも、今後も継続して取り組んでいくこととなります。以下課題にそって97年度の取り組みについて報告します。

1) 福祉の課題

- ①たすけあいの会、食事の会などならコープが取り組んできた助け合いの活動を大きく広げていきます。
- ②社会福祉法人の設立と特別養護老人ホームの建設に向けて本格的に取り組みをすすめていきます。そのための2億円以上の福祉募金を組合員、職員、取り引き業者をはじめ、広く県民全体に呼びかけて成功させて行きます。
- ③介護用品の取り組みをさらに強めていくことなど福祉の事業化に向けての研究をすすめます。

2) 環境のとりのくみ

- ①容器・包装リサイクル法の施工に伴う事業対応について積極的に進めていきます。さらに環境マネジメントの導入と環境の取り組み強化の具体化をはかります。
- ②牛乳パック、缶、PET、トレーなどの組合員の回収運動をさらに進めていきます。
- ③行政への働きかけや話し合い、行政の取り組みへの参加などをさらに進めていきます。環境基本条例の実現に向けた努力を進めていきます。
- ④第3回地球環境温暖化防止締約国会議(12月、京都開催)の成功に向けて取り組みを進めます。河川の汚染調査や酸性雨調査などをさらに工夫して取り組み、ごみダイエットキャンペーンなどのくらしの見直しの活動を進めます。アースデーにも取り組みます。

3) 平和のとりのくみ

- ①SSDIVの参加に向けて準備をすすめます。
- ②平和行進、ノーモアウォーの取り組みをさらに盛り上げていきます。

4) 食の安全と健康の取り組みを年間を通じた重点課題とします。

- ①食品衛生法の抜本改正にむけて署名運動を下期に取り組みます。
- ②組合員の学習活動、コープ商品の見直し、学習、普及運動を精力的にすすめます。

5) くらしを守る課題

- ①介護保険、医療保険をはじめくらしにかかわる重要問題について学習をすすめます。消費税、灯油運動など消費者運動課題にも継続して取り組みます。
- ②自然災害に対する国民的保障制度の実現にむけて積極的に取り組みます。以上、考えている重点課題と取り組みの基本方針について簡単に報告しましたが、どの課題も組合員の学習活動が基本となります。大いに学びながら課題を大きく前進させていきたいと考えています。

Environment (環境)

川の流れを美しく

サークルミズスマシ 市川 久美子

酸性雨観測をきっかけにサークルを作りました。名前はミズスマシ、メンバーは6人(竹内・那須・吉川・染川・山元・市川)です。日生協の酸性雨定点観測を3年間行う事になり、私の庭先を観測場所に決め、データを毎月日生協へ送りました。3年間と長い日々でしたが、無事終了しました。観測を終えた時、ホッとしたというのが素直な気持ちでしょうか。

メンバーはそれぞれが仕事をもっておりますので、活発な活動とまではいきませんが、月一度の会合には必ず集合しています。浄水場を見学に行き、私たちの流した水のゆくえをたどったり、遊びがてら川を調べにいたりもしました。

先日は都祁村の水分^{みくまり}神社を尋ねました。水分神社は、大和の水分四社(都祁・宇陀・吉野・葛城)のひとつで、水分は“水配：山から流れる水が別れるところ”を言い、都祁は大和川と木津川の分配を司る神として古くから崇敬されてきた所です。

又、各地で川が、どんどん汚染されている中で、四万十川が「最期の清流」ではなく「清流の最期が近い」との危機感を感じていると報じられていました。

環境の取り組みが各地で活発に行われていますが、昔の姿にもどす努力をもっともっとしていかななくてはならないとつくづく思いました。私もそのひとりとして頑張っていきたいと思っております。



水分神社

Welfare (福祉)

昼食作りでお年よりと交流の輪を

コープおしくま食事の会 此村 淑恵

平成4年5月に、生協の福祉活動の一つとして始まり、平成5年10月より自主サークルになりました。月1回(第1月曜)年10回(1月と8月を除く)地域の高齢者を対象にコープおしくまの店舗で、昼食をボランティアが作り、共に会食しています。高齢者の方は、年1回登録料300円(参加確認の通信費)で登録をし、参加費は、1回700円です。

現在高齢者登録数25名、ボランティアは、31名で運営しています。押熊の店舗は、京阪奈学研都市の一部で、新興住宅街のため、最初はお客様の人数よりボランティアの方が多く、自分達で料理講習会をしているような状態が続き、クチコミで徐々に広がりを見せてきました。今では、お客様から入会者を紹介したいとのお話もありますが、調理室の食器が約40組しかなくお待ちいただいています。食後のお茶を飲みながら、献立作製と調理指導をお願いしている砂村先生より、高齢者の食事へのアドバイスや参考になる話しなどして和気あいあいとした雰囲気です。高齢者の方へは誕生月に花束を贈っていますが「自分の誕生月なので休まずにきた」といわれ大変好評です。初めの頃は、献立により調理が遅くなることがあると、「手伝いましょうか」とやさしいお声がかかり感激したものです。またお客様で参加され、次からはボランティアに登録された方もおられます。

これからの課題は、ボランティアが多いので、二つの班に分けて交替で調理をしていますが、会食の回数をふやせないか、食後の30分から1時間ぐらいの過ごし方、更に気候のよい時お弁当持参で戸外でのお花見等、話し合いを進めてますが、まだ準備段階です。高齢者とはいってもバスを乗り継いだりして各方面よりご来店される、お元気で若々しい会員ばかりですが、それもやはり限界があるように思います、いずれは在宅者への配食も考えなければならないでしょう。



今日のお食事いかがでしたか？

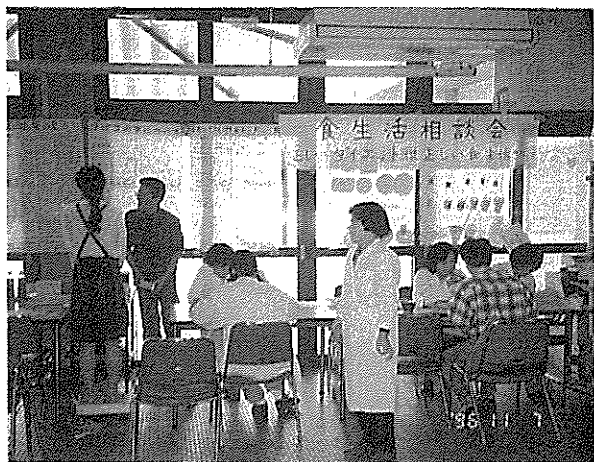
奈良教育大学生協

奈良教育大学生協では、厳しい学生の就職状況の中、大学学生課と協力して12月11日（水）に教員・公務員採用模擬試験を実施しました。また、今後も試験対策講座や1・2回生を対象にした資格取得のためのガイダンスなどを予定しています。

11月末、食堂ホールに待望の新しい椅子が入りました。学生には「食堂が広く感じられる。」となかなか好評です。生協では、年も押し迫った12月19日（木）に新しい椅子が入ったことをお祝いして恒例のX'masパーティーを開催しました。

大学ではインターネットの活用が盛んですが、奈良教育大学生協出も、学生委員会のメンバーとパソコンのユーザーの仲間が協力して、生協のホームページを開設しようと取り組み、近日中に公開の予定です。

（足田専務理事）



食堂での食生活相談会

奈良女子大学生協

— 何かやってくれる奈良女生協 —

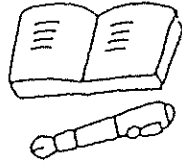
奈良女子大学生協では、クリスマスパーティーを行いました。12月13日にあわてもののサンタが奈良女に登場。（この原稿を書いている頃には、サンタさんは奈良女生の喜びそうなイベントを考案中。）

奈良女子大学生協の七夕祭りは、知る人ぞ知る有名？な企画ですが、あわてもののサンタさんのことだから今年の12月にはもう来てくれないかも。歴史の積み重ねも大切ですが新しいことにチャレンジも大切。いつも組合員さんに楽しんでもらえることを願っています。（小林専務理事）

県立商科大学生協

— 商科大生協に換気扇がついた！ —

商科大生協も設立して2年。1年目はとにかく経営の心配ばかりでしたが、今年は少し違います。何よりも、組合員の声聞くことになりました。学生委員の生協に学んで「ひとことカード」を作成。そして、ひとことで寄せられた食堂のタバコの煙の問題が理事会で重要議題に。教員理事が前面にでて換気扇の設置について事務局と話し合い、事務局も予算とにらめっこしながらのGOサイン。組合員の声力を、少しずつ良くなっていく商科大です。（小林理事）



- 12/4 自然災害に対する国民的保障制度を
求めるシンポジウム
- 12/5 県代表者会議 (会長出席)
- 12/8 '96ノーモア・ウォーのつどい
- 2/1 第7回生協大会
- 3/27 第5回理事会

ならコープ特別養護老人ホーム をつくる会の発足総会を行います

日 時 2月1日(土) 10:00～12:00

場 所 新公会堂能楽ホール

テーマ 「老い方の探求」

講演者 ベストセラー「^{こころ}黄落」の著者
佐江衆一氏

定 員 500名

*参加費無料

申し込み ならコープ組合員活動室

TEL 0742-34-8735

多数ご参加ください

福祉募金のお願い

市民参加の特別養護老人ホーム実現のため
の募金活動です。

〈建設予定施設概要〉

特別養護老人ホーム50床

ショートステイ20床

地域介護サービスセンター機能

ケアハウス15床

〈振り込み先〉

南都銀行 南支店 普通預金

口座番号 403647

社会福祉法人 協同福祉会 設立準備委員会

代表 伊藤 次栄

■建物の特徴について

- 居住性が良く、家庭的な雰囲気になります。
- デイサービス、ショートステイを設け、
利用する人達が気軽に利用できるように
します。
- 地域の福祉の拠点として、在宅介護支援
センターなどを設けます。
- 地域・市民(組合員)との交流・参加を
広げます。
- 趣味・生きがい活動のために、多目的ホー
ル・集会場・娯楽室・喫茶コーナー・読
書室などを設けます。
- 研修・相談室を設け、介護教室などを行
います。
- 最新式の機械導入により、入浴・トイレ・
洗濯・食べ物などによる臭い・騒音など
に十分配慮します。



申し込み問い合わせは

奈良県生活協同組合連合会

TEL0742-34-3535まで